

# 補足資料

# 売上高及び営業利益の四半期推移



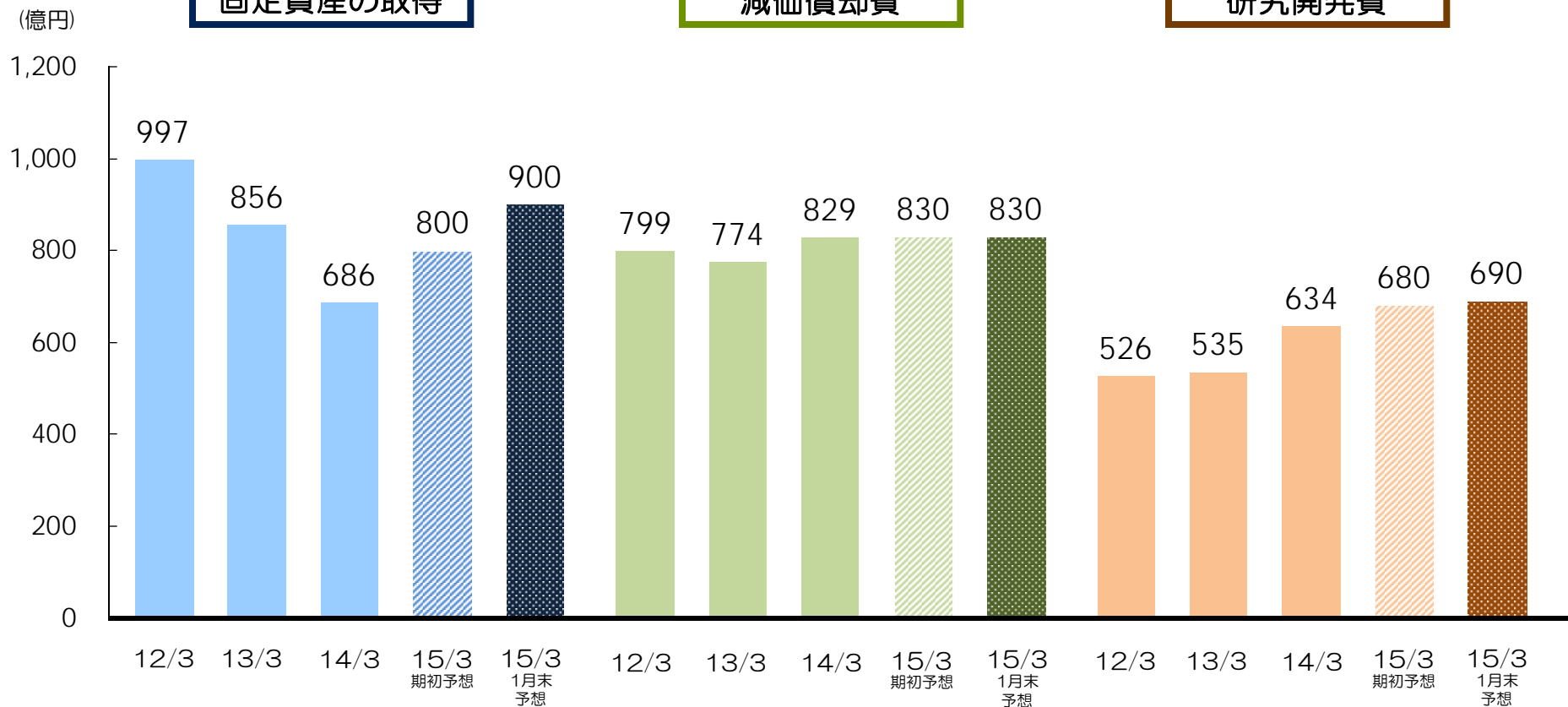
		2014年3月期					2015年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	(億円)										
	コンデンサ	337	351	347	361	1,396	365	373	375		
	インダクティブデバイス	350	355	349	349	1,403	367	388	403		
	その他受動部品	483	488	475	471	1,917	502	562	682		
	受動部品合計	1,170	1,194	1,171	1,181	4,717	1,234	1,324	1,461		
	記録デバイス	602	663	690	612	2,567	591	637	751		
	その他磁気応用製品	260	266	268	283	1,077	280	267	265		
	磁気応用製品	862	929	957	895	3,643	871	904	1,016		
	フィルム応用製品	265	327	410	291	1,293	225	372	474		
	その他	47	44	43	58	193	45	48	53		
合計	2,344	2,494	2,582	2,425	9,845	2,375	2,648	3,004			
営業利益	受動部品	28	62	61	3	154	78	98	119		
	磁気応用製品	46	78	103	54	281	71	82	73		
	フィルム応用製品	21	33	68	11	134	3	52	96		
	その他	△ 8	△ 8	△ 8	△ 8	△ 32	△ 4	1	1		
	小計	87	165	223	61	537	148	233	290		
	全社および消去	△ 42	△ 40	△ 44	△ 45	△ 171	△ 52	△ 50	△ 38		
合計	45	125	179	17	366	96	183	252			
為替	対ドルレート (円)	98.74	99.02	100.38	102.97	100.23	102.17	103.86	114.25		
	対ユーロレート (円)	128.96	131.11	136.56	141.12	134.42	140.17	137.77	142.79		

# 2015年3月期各種費用見通し

## 固定資産の取得

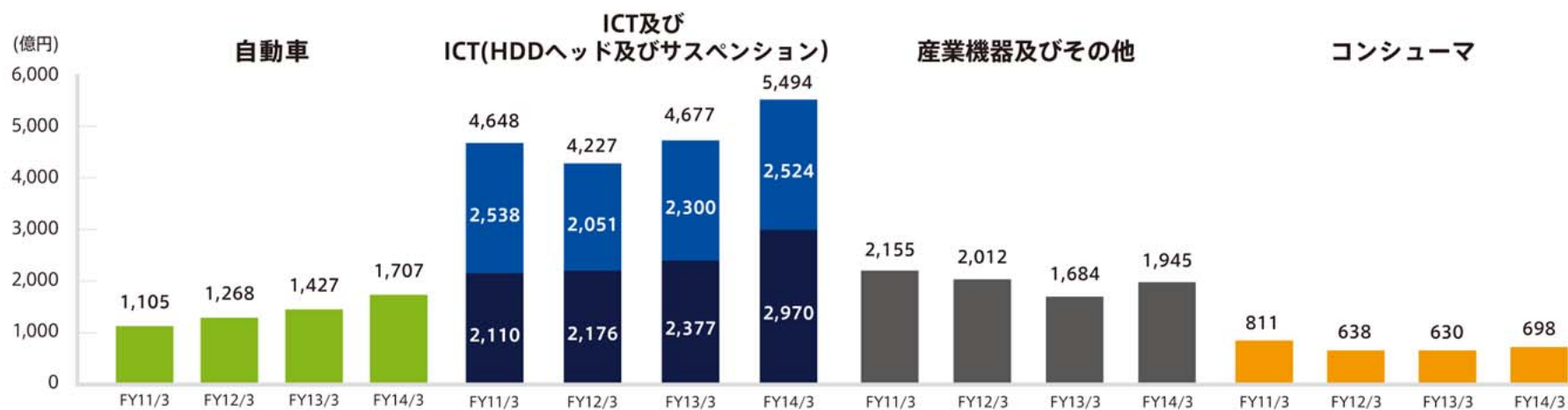
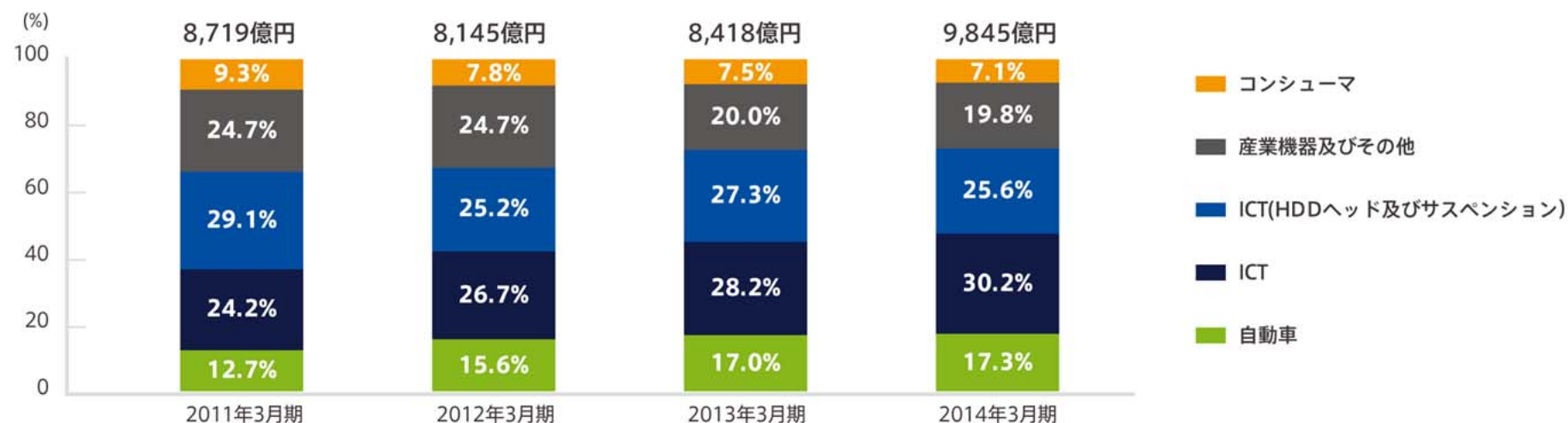
## 減価償却費

## 研究開発費

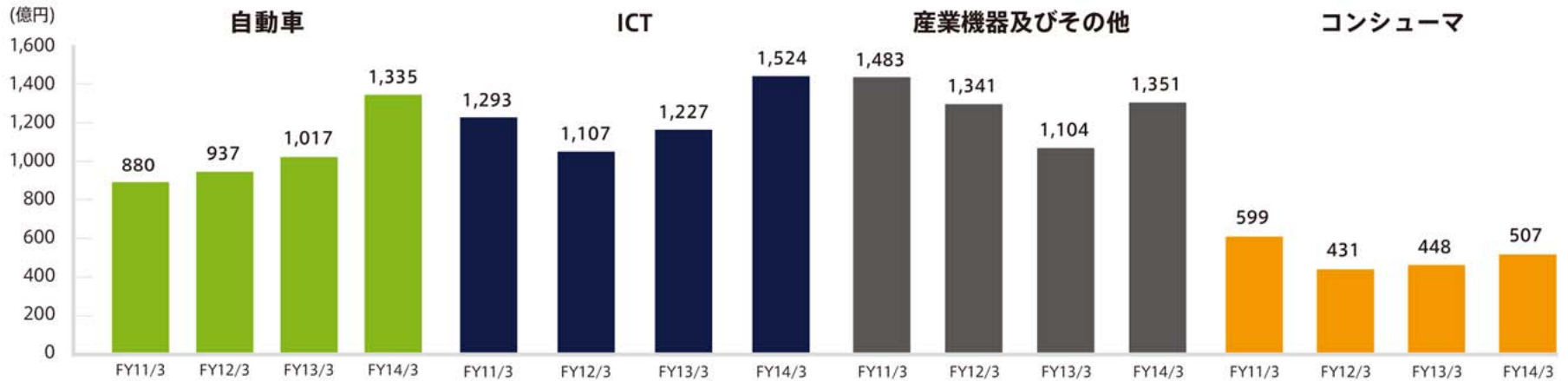
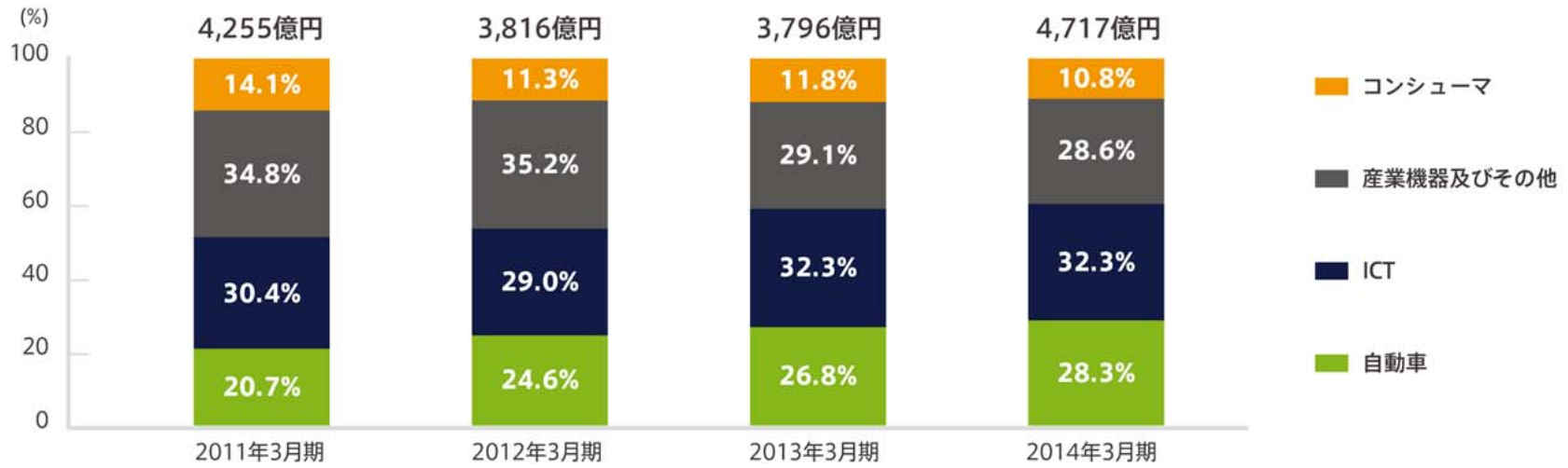


(億円)	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュフロー	855	893	38
投資活動によるキャッシュフロー	△431	△931	△500
フリーキャッシュフロー (FCF)	424	△38	△462
財務活動によるキャッシュフロー	△194	△197	△3
為替変動による影響額	276	362	86
現金同等物残高	2,643	2,636	△7

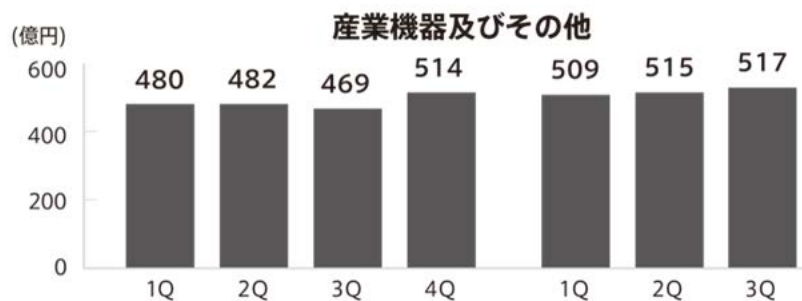
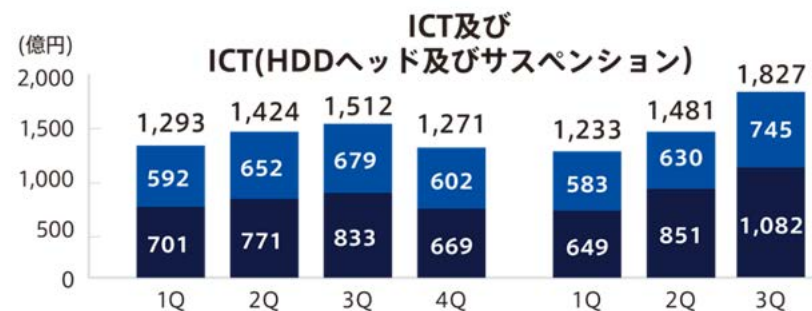
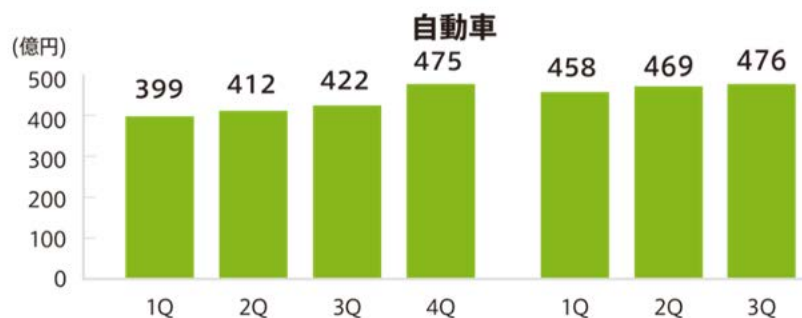
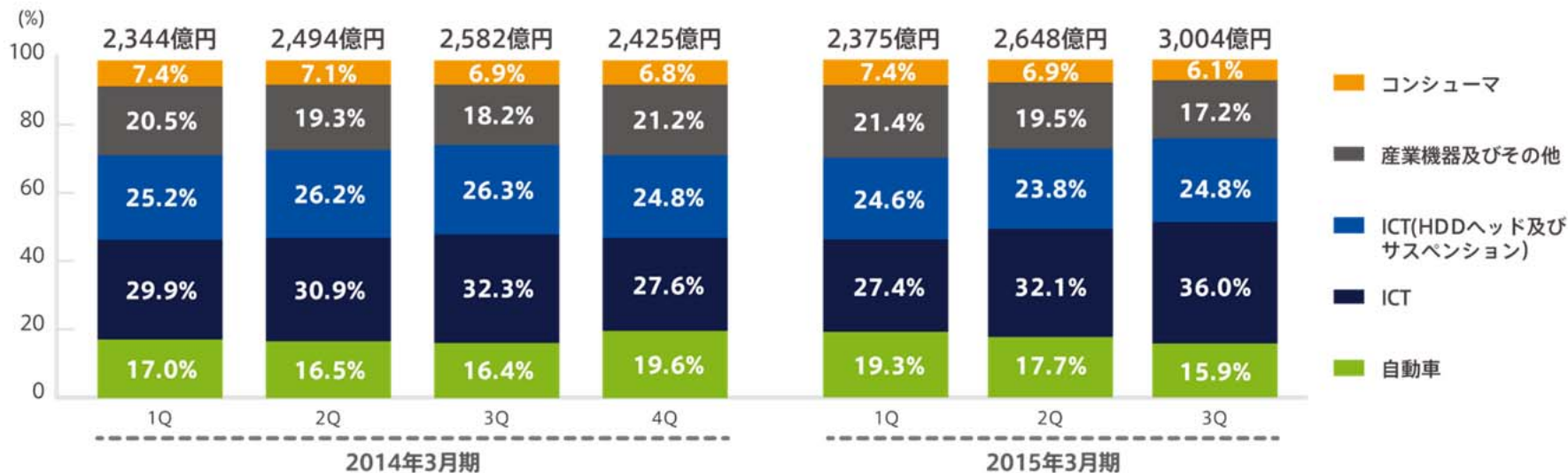
(億円)	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	増減
固定資産の取得	479	706	227
減価償却費	618	598	△20



# 受動部品 分野別通期売上高推移 (2011年3月期~2014年3月期)

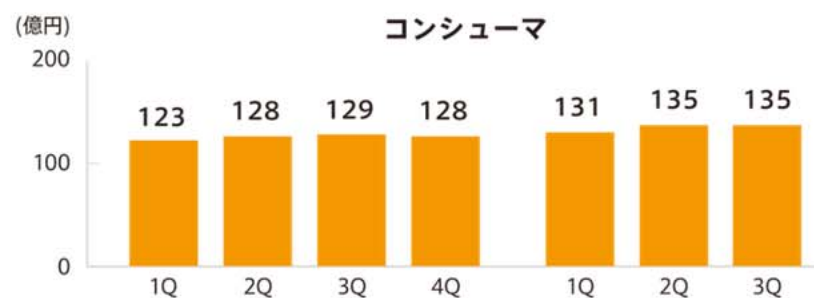
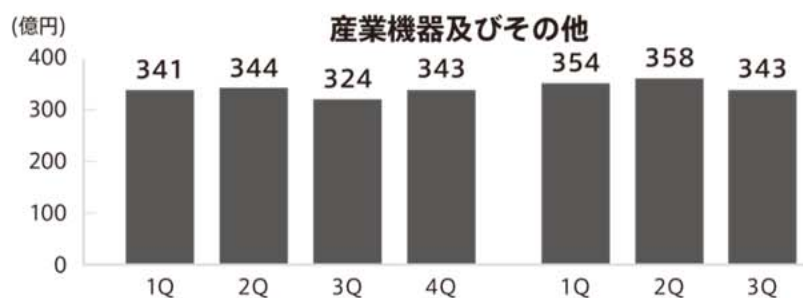
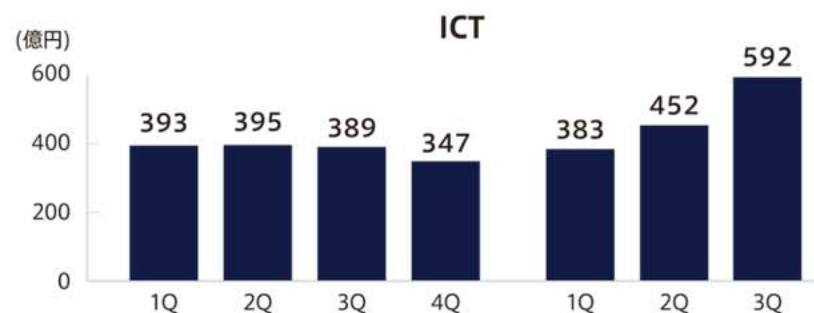
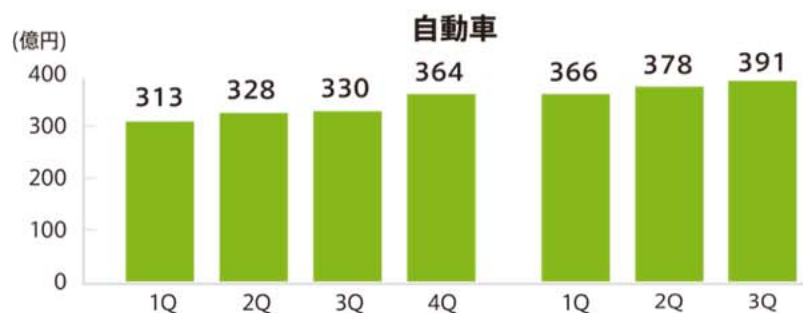
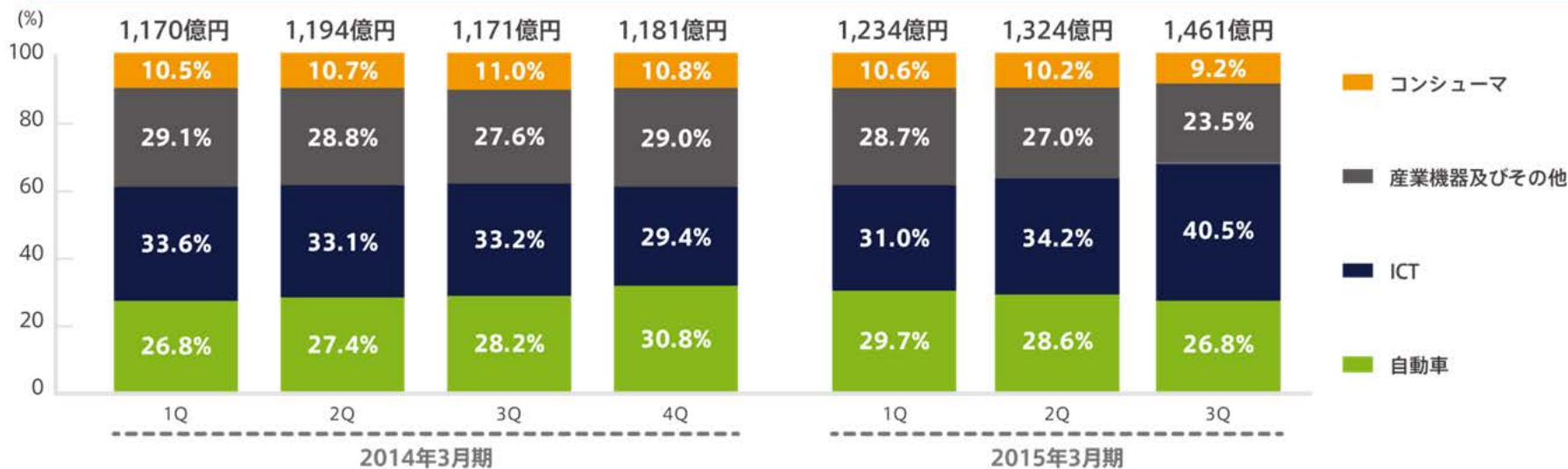


# 全社 分野別四半期売上高推移 (2014年3月期1Q~2015年3月期3Q)

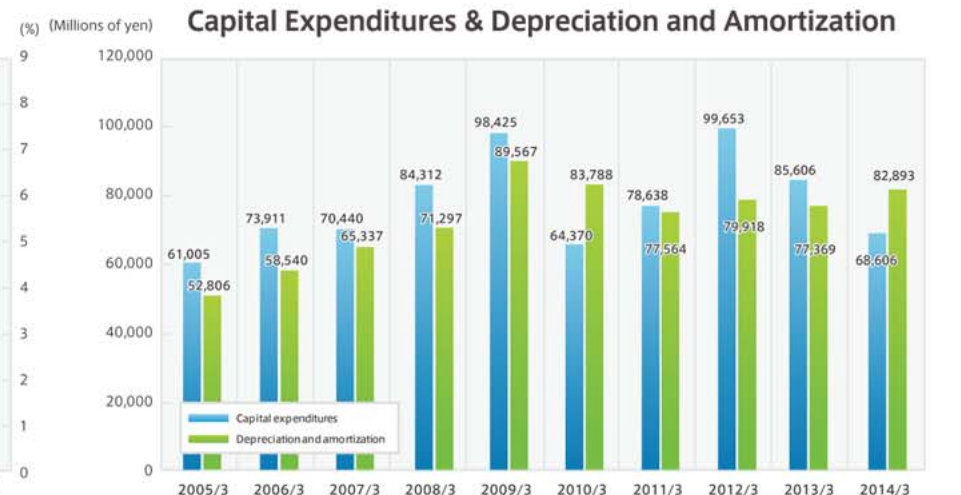
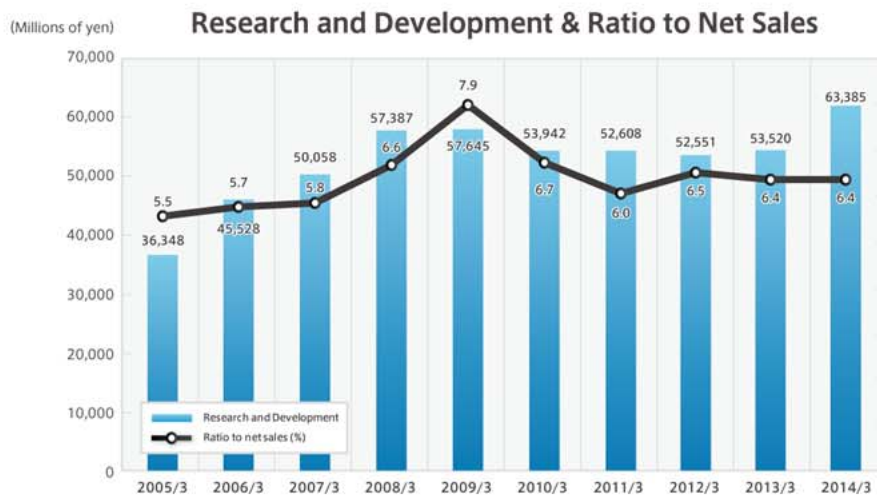
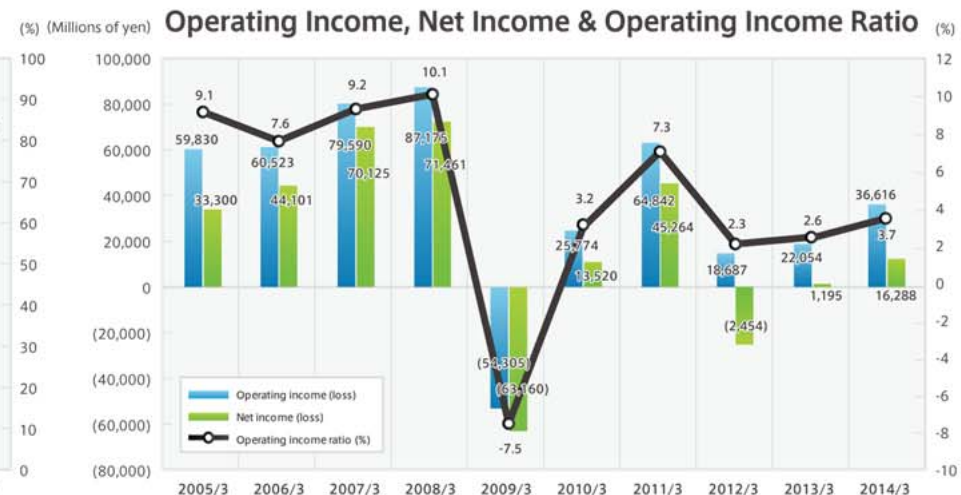
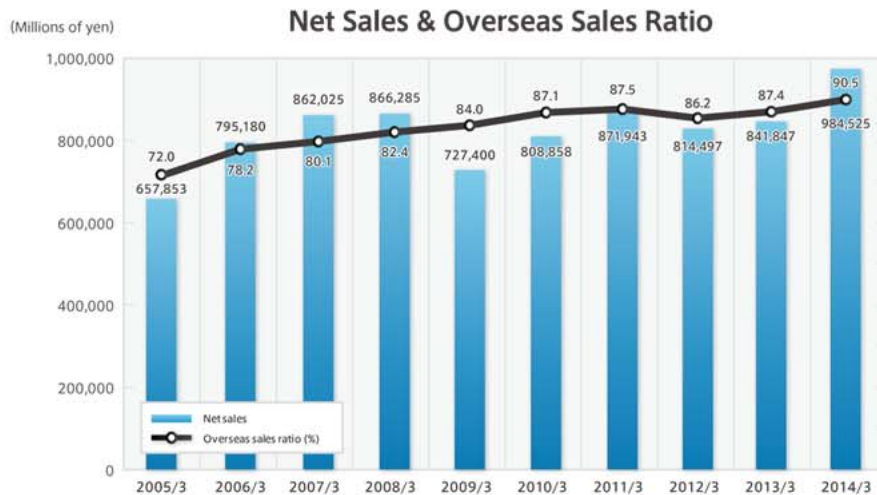


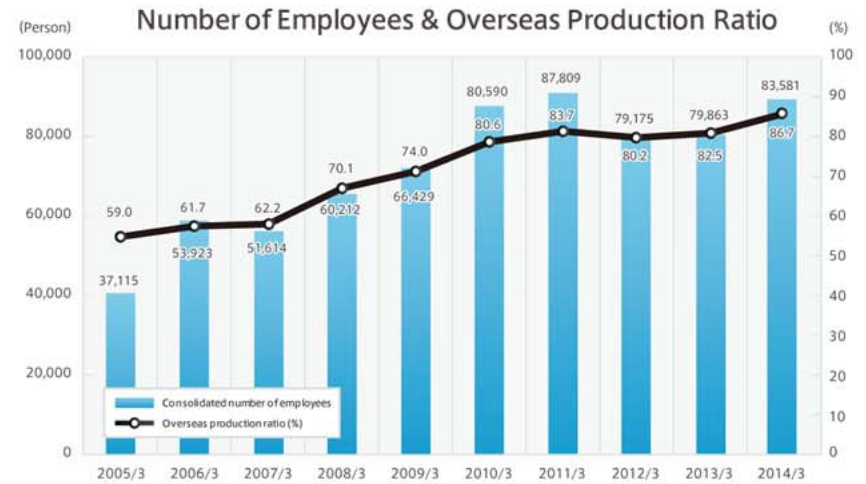
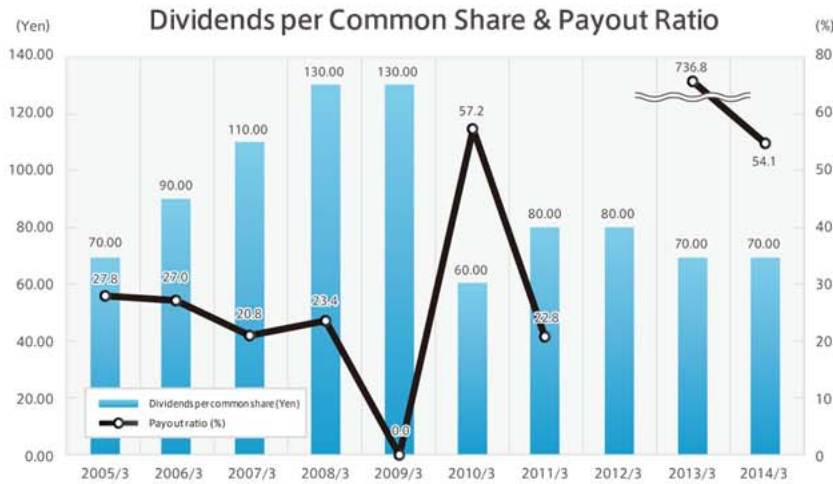
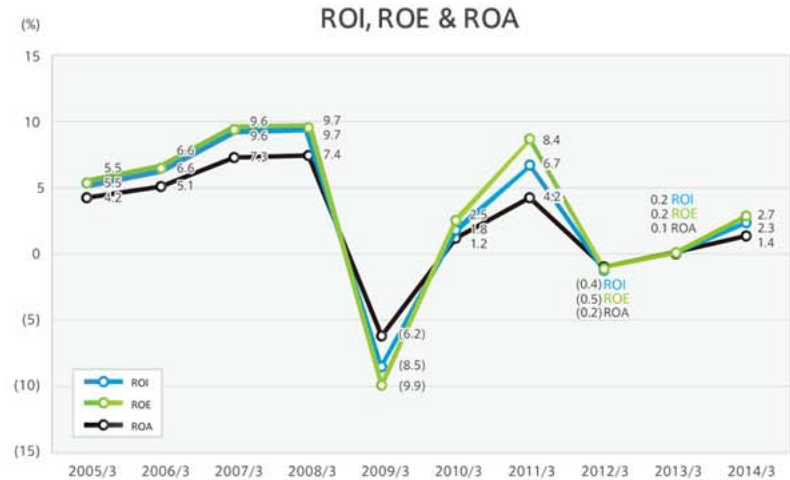
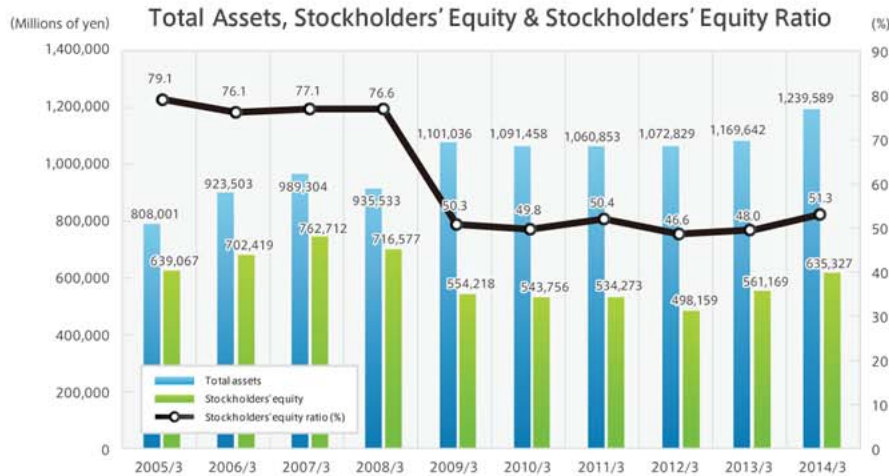


# 受動部品 分野別四半期売上高推移 (2014年3月期1Q~2015年3月期3Q)









この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。  
[http://www.tdk.co.jp/ir/ir\\_events/conference/2015/3q\\_1.htm](http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2015/3q_1.htm)